

第30回福岡市都市景観賞の受賞作品決定及び記念シンポジウムの開催について

福岡市では、市民の皆様からの推薦・応募をもとに福岡のまちの魅力を創り出しているランドスケープ・建築・広告・活動を表彰することにより、景観に対する意識向上を目的として、『福岡市都市景観賞』を昭和62年度から実施しており、今年で30回目を迎えました。

このたび、300件を超える応募の中から「第30回福岡市都市景観賞」の受賞8作品が決定しましたので、歴代景観賞から選ぶ「福岡市景観人気投票」の結果と併せてお知らせします。

また、下記のとおり記念シンポジウムを開催しますので、市民の皆様への周知にご協力いただきますようお願いいたします。

1 第30回福岡市都市景観賞

※詳細はP.2～5参照

- **受賞作品** 【大賞】 鳥飼八幡宮 式年遷宮
【市民賞】 福岡大名ガーデンシティ
【ランドスケープ部門賞】 ポタニカルライフスクエア
【建築部門賞】 010 BUILDING
【広告文化部門賞】 Tenjin Tree Vision |
マリンワールド海の中道 アザラシTube
【活動部門賞】 室見団地みらいえ
【特別賞】 大洋映画劇場、博多祇園山笠



【大賞】 鳥飼八幡宮 式年遷宮

- **表彰式** 令和6年1月19日(金)14:00～ 福岡市科学館サイエンスホール(中央区六本松) ※関係者のみで開催
- **展覧会** 令和6年1月19日～25日@六本松蔦屋書店、1月29日～2月4日@福岡市役所ロビー

2 歴代景観賞から選ぶ「福岡市景観人気投票」

歴代の都市景観賞(1回～29回)受賞作品221点の中から公式サイト「トットコ」での投票により決定(投票総数1,887票)

- 【1位】 アクロス福岡
- 【2位】 福岡タワー
- 【3位】 福岡市博物館
- 【4位】 福岡市美術館の情景
- 【5位】 福岡ドーム(現:福岡PayPayドーム)
- 【5位】 九州大学伊都キャンパス



【第1位】 アクロス福岡

3 記念シンポジウム 「福岡」のミライを描く

※詳細はP.6参照

- (1) 日時 令和6年1月20日(土) 13:30開場 14:00開始 17:00終了予定
- (2) 場所 福岡市科学館サイエンスホール(中央区六本松)
- (3) 内容 基調講演 及び パネルディスカッション
【登壇者】 福岡市景観にゆかりのある5名(順不同)



西村 幸夫 氏



坂井 猛 氏



牧 敦司 氏



松下 美紀 氏



大塚 ムネト 氏

- (4) 定員 250名(無料) ※公式サイト「トットコ」より事前申込が必要です。

公式サイト「トットコ」

福岡市都市景観賞の取り組み、
受賞作品をご覧ください。

<https://tottoko.city.fukuoka.lg.jp/>



【問い合わせ先】

住宅都市局地域まちづくり推進部都市景観室

担当: 佐藤、有村

TEL: 711-4394 (内線2810)

福岡市 第30回 都市景観賞

FUKUOKA URBAN BEAUTIFICATION AWARD

受賞作品

- 大賞
- 市民賞
- ランドスケープ部門賞
- 建築部門賞
- 広告文化部門賞
- 活動部門賞
- 特別賞

30th

第30回 福岡市都市景観賞

選考総評

福岡市都市景観賞は、都市景観の形成に寄与していると認められる建築物、工作物、その他の物件の所有者、設計者、施工者、その他関係者を表彰することにより、都市景観の向上と市民の都市景観に関する意識の高揚を図ることを目的としています。

令和5年7月5日から8月18日まで公募したところ、市民の皆様から300件以上の応募があり、委員の書類審査によって22件を選定しました。委員会で候補の視察を行ったうえで11月13日に最終選考に臨みました。

そのなかで「鳥飼八幡宮 式年遷宮」は、伝統的な様式に現代的な空間を加え、茅の量塊感、巨石の石柱などによる新しい神社空間を創り出しています。遷宮に当たり、過去から未来につなぐ景観を醸成していること

を高く評価し、「大賞」を贈ることとなりました。

選外となった応募の中にも多くの名作がありました。最終選考委員会では、各候補の採点をしたうえで、席上で委員全員に各候補の評価を求め、なるべく多くの時間を使い議論したうえで、各賞を決定することができたと思います。

これからもアジアをリードする福岡の都市景観に相応しい、優れたランドスケープ、建築、広告、活動が数多く生まれることによって、福岡市が発展することを願っています。

福岡市都市景観賞選考委員会委員長 坂井 猛(九州大学教授)



鳥飼八幡宮 式年遷宮

福岡市中央区今川2丁目1-17

所有者：宗教法人鳥飼八幡宮
設計者：一級建築士事務所 二宮設計
施工者：アスミオ、株式会社



(c)Noboru Inoue

福岡市中央区にて1800年の歴史ある神社の本殿・拝殿の建て替え計画。伝統的な様式だけでなく、現代的な空間を付与することで新しい都市景観を生み出している。拝殿では、日本民家の屋根に用いられる「茅」を壁全面に用い、その量塊感が「天の岩戸」のような原初的な空間

を思いおこさせる。また、巨石による石柱が内部空間を壮大な神殿にしている。これまでにない全くユニークな神社のあり方で、千年単位の時間を見据え、過去から受け継ぎ未来につなぐ素晴らしい景観を醸成しつつある点が高く評価された。



福岡大名ガーデンシティ

福岡市中央区大名2丁目6-50

事業者：大名プロジェクト特定目的会社(積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社、西部ガス株式会社、株式会社西日本新聞社、福岡商事株式会社)
設計者：久米設計・醇建築設計共同企業体(株式会社久米設計九州支社、株式会社醇建築まちづくり研究所)
施工者：清水・鴻池・積和建設九州特定建設工事共同企業体 古賀・内山・岐阜<大名>建設共同企業体

旧大名小学校の記憶を受け継ぎ、既存樹木を活かしながら、地下駐車場がある難条件のもと高木を植栽、囲む建築壁面への緑化も積極的に実施。大名地区にこれほど豊かな緑の空間を創りあげた功績は大きい。中央の人工芝広場では多くの人々が休憩する様子が見られ、市民投票数最多の市民賞は当然であろう。



ランドスケープ
部門賞

ボタニカルライフスクエア

福岡市中央区小笹5-1-1

所有者：公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
設計者：アトリエサンカスケール株式会社
施工者：パナソニック建設エンジニアリング株式会社

ボタニカルライフスクエアは、瀧光夫デザインの展望台を背景に、存在を大きく主張することなく、植物園の風景と一体となるように配置されている。水平ラインを基調に、開放性は高く、屋上は緑化され、人々を展望台やカフェまで呼び込むように、施設の中や裏側にまで配慮して道を通し、植物園の樹々や草花のように風景の構成要素となっている。



(c)GION



建築
部門賞

010 BUILDING

福岡市博多区住吉1-4-17

所有者：株式会社Zero-Ten
設計者：CLOUDS Architecture Office
NKS2アーキテクト+中原拓海建築設計事務所JV
施工者：株式会社佐伯建設

福博をつなぐ那珂川の水辺に位置する010 BUILDING。日米の建築家の協働により実現したらせん状の外装が、昼夜連続的に変化し福岡の水辺に新たな魅力を生み出した。閉鎖的な大空間であるシアターを上階に持ち上げ、地上階に水辺とまちをつなぐ豊かな公共領域を創出したことも高く評価された。



広告文化
部門賞

Tenjin Tree Vision | マリンワールド海の中道 アザラシTube

福岡市中央区天神2-22 西鉄福岡(天神)駅構内

所有者：株式会社海の中道海洋生態科学館
企画者：株式会社西鉄エージェンシー
制作者：株式会社VSQ

日々進化を遂げるOOHメディア。今回のマリンワールドの広告は、円筒形デジタルサイネージの特徴を上手に活かし、まるで柱そのものが水槽になったような臨場感を作り出すことで、人々を惹きつけ楽しませ、そして広告であることを忘れるくらい、都市景観の中に癒しの場を創出することに成功している。



活動
部門賞

室見団地みらいえ

福岡市早良区南庄5-3-2

代表者：室見第一住宅管理組合
協力者：九州大学 田上研究室

合意形成を図るにあたり多様な見解を包摂しながら対話を促進することを主目的としていると、その狙いに即してオープンな空間づくりに工夫が凝らされている。可動式という点もユニークであり、今後は団地内外でゆるやかに地域に思いを寄せるきっかけを創る空間となることも期待する。



特別賞

特別賞は、今回の選考より新設された賞で、長年親しまれてきた作品、複数部門で評価できる作品などを表彰するものです。



大洋映画劇場

福岡市博多区中洲4-6-18

所有者：株式会社大洋映画劇場

中洲において、大洋映画劇場はその映画文化のランドマークであった。その中洲から映画館が消え、最後のシンボルであった大洋映画劇場も令和6年3月に取り壊されることが決まっている。ドアを開けると香り立つ、懐かしい匂いと、物語に出会う高揚感、そして曲線を描く外観はノスタルジーさえ感じさせながら、中洲のまちの風景の中にその存在感を放っている。



博多祇園山笠

代表者：博多祇園山笠振興会

夏の風物詩として定着している行事であり、中でも「飾り山笠」は盛夏の博多を象徴する景観との側面も強い。コロナ禍の休止期間を経た中で改めてその存在感を再確認した市民も少なくなかったはずである。これからも永く歴史を刻み続け、福岡の文化のシンボルであり続けることを期待する。

受賞作品 展覧会開催!!

六本松蔦屋書店

福岡市中央区六本松4丁目2-12F
9:00～22:00 ※最終日は15:00まで

1/19 [金] → 25 [木]

福岡市役所ロビー

福岡市中央区天神1丁目8-1 1F
8:00～20:00 ※最終日は17:00まで

1/29 [月] → 2/4 [日]

第30回 福岡市都市景観賞概要

■選考委員：坂井 猛（九州大学大学院/本部キャンパス計画室 教授）、柴田 久（福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授）、西川 真水（西日本短期大学 緑地環境学科 教授）、鶴飼 哲矢（九州大学大学院 芸術工学研究院 環境設計部門 教授）、黒瀬 武史（九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授）、池田 美奈子（九州大学大学院 芸術工学研究院 未来共生デザイン部門 准教授）、伊藤 敬生（九州産業大学 芸術学部 ソーシャルデザイン学科 教授）、古賀 桃子（特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター代表）、中村 善輝（福岡市NPO・ボランティア 交流センター「あすみん」センター長）、大場 真一郎（福岡市住宅都市局 理事）

■主催：福岡市（住宅都市局地域まちづくり推進部都市景観室）

■後援：（一社）九州住宅産業協会、（一社）建設コンサルタンツ協会 九州支部、（独）住宅金融支援機構 九州支店、全九州ネオン工業協同組合、（公社）全日本不動産協会 福岡県本部、（独法）都市再生機構 九州支社、福岡県美しいまちづくり協議会、福岡県建設業協同組合、（公社）福岡県建築士会、（一社）福岡県建築士事務所協会、福岡県住宅供給公社、（公社）福岡県造園協会、（公社）福岡県宅地建物取引業協会、福岡県ゆとりある住まいづくり協議会、福岡広告協会、福岡市広告美術業協同組合、福岡市住宅供給公社、（一社）福岡市造園建設業協会、（一社）福岡市土木建設協会、（公財）福岡市緑のまちづくり協会、福岡設計協同組合、（公社）日本建築家協会 九州支部、（一社）日本建築学会 九州支部、（公社）日本造園学会 九州支部、（特非）日本都市計画家協会 福岡支部、（公社）日本都市計画学会 九州支部、風景デザイン研究会、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会 九州支部



公式サイト「トットコ」

福岡市都市景観賞の取り組み、
受賞作品をご覧ください。
<https://tottoko.city.fukuoka.lg.jp/>



公式インスタグラム

ぜひ「福岡市都市景観賞」を
フォローしてください。
[@fukuokashi_toshikeikansyou](https://www.instagram.com/fukuokashi_toshikeikansyou)



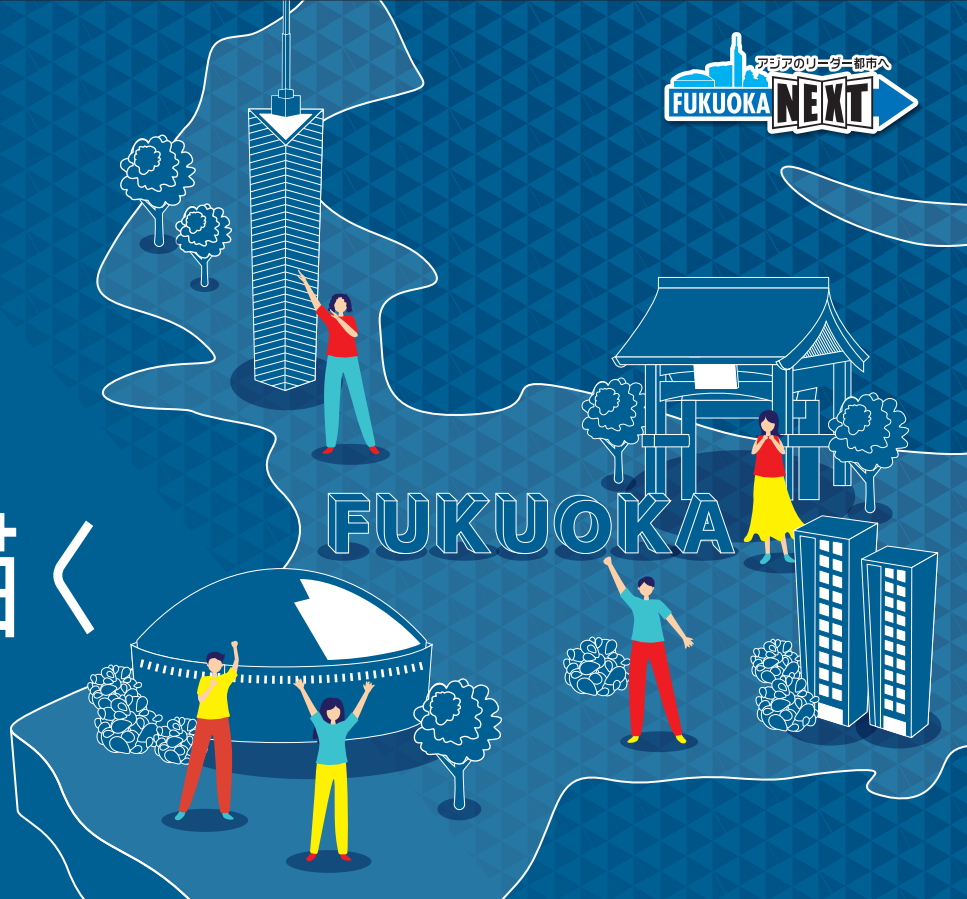
発行：福岡市住宅都市局地域まちづくり推進部都市景観室（福岡市役所4階） 発行：令和5年12月
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8-1 TEL:092-711-4589 FAX:092-733-5590

第30回福岡市都市景観賞

記念シンポジウム

「福岡」の ミライを描く

〔開催日時〕
2024.1.20 〔土〕
13:30 開場
14:00 ▶ 17:00 (予定)



① 主催者挨拶 | 福岡市

② 基調講演

□ テーマ

「福岡の個性を活かした都市景観づくり」

都市景観の第一人者である西村幸夫氏に、都市計画、地域まちづくり、歴史景観など、様々な見地から福岡の個性を活かした都市景観づくりについてご講演いただきます。

□ 講師

都市景観・世界遺産のスペシャリスト

西村 幸夫氏

PROFILE

國學院大學観光まちづくり学部長・教授

東京大学教授、神戸芸術工科大学教授を経て、現在に至る。日本イコモス国内委員会委員長などを歴任し、現在は日本ユネスコ協会連盟未来遺産委員会委員長などをつとめている。



③ パネルディスカッション

日々、福岡市の景観づくりにご尽力、ご貢献いただいている方々にご登壇いただき、今までの経験や様々な視点から福岡市のミライ景観についてご議論いただきます。

□ 登壇者 (順不同)



九州大学大学院/本部キャンパス計画室
教授

坂井 猛氏

福岡市都市景観審議会会長



株式会社醇建築まちづくり研究所
代表

牧 敦司氏

福岡大名ガーデンシティのランドスケープアーキテクト



株式会社松下美紀照明設計事務所
照明デザイナー

松下 美紀氏

「博多旧市街ライトアップウォーク」千年煌夜総合監修



ギンギラ太陽's
主宰

大塚 ムネト氏

「かぶりモノ」を用いたビルや乗り物の物語を公演

講師
西村 幸夫氏も
登壇!

会場
アクセス

福岡市科学館 6F サイエンスホール

〒810-0044 福岡市中央区六本松4-2-1
TEL:092-731-2525 地下鉄七隈線 六本松駅すぐ

定員・
参加費

250名/参加費無料

参加者に景観賞記念誌をプレゼント!

応募方法

事前申込が必要です。

ご希望の方は右記QRコードより応募
フォームにて**1月17日(水)まで**
にお申し込みください。

記念シンポジウムのお申し込みは、
特設サイトにアクセス!



お問合せ・その他の福岡市都市景観賞の取り組みはコチラ▼



お問合せ先：福岡市都市景観室

TEL:092-711-4589

公式サイト「トットコ」

福岡市都市景観賞の取り組み、
受賞作品をご覧いただけます。

<https://tottoko.city.fukuoka.lg.jp/>



公式インスタグラム

ぜひ「福岡市都市景観賞」を
フォローしてください。

@fukuokashi_toshikeikansyou

